

2010年度

科目名	中国語 I (コミュニケーション)		
担当教員	井戸 有紀		
配当	人社1(3311)	コード	15050
開期	通年	講時	月曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	中国語の全体像を把握し、発音を中心とする中国語の基礎を習得する		
目的と概要	現代中国語を修得するための基礎を学習します。中国語がどのような言語かをイメージできるようにまずは概説から入り、続いて発音を表す「ピンイン」や音の高低を表す「声調」、「簡体字」と呼ばれる独特の字体を学習します。この授業では、コミュニケーションの土台となる正しい発音を身につけるために、音声面の学習に重点を置いて練習します。また、生活に密着した口語表現を学ぶ中で、使用頻度の高い基本語および初歩的な文法知識を学習します。		
成績評価法	筆記試験70%、発音・小テスト・提出物等各10%。前後期とも欠席4回で試験の受験資格を失います。(出席状況や平生の授業態度について、最終成績の素点に±10%の範囲で考慮する場合があります。)		
テキスト	『《最新版》中国語はじめの一步』(白水社)		
参考書	辞書を含め適宜指示します。		
履修に当たっての注意・助言	初めて習う言語に対して不安な気持ちがあるかも知れませんが、思い切って中国語の扉を開けてみてください。きっと、新鮮な感動と知的な興奮に満ちたもう一つの世界が待っています。上達のコツは「好きになること・無心に発音をまねること・真面目に覚えること」、この三つです。		
講義計画			
1. 中国・中国語とは	中国・中国語についての概説と学習アンケート。		
2. 発音の基礎	中国語の特徴の一つである声調について・母音・子音の練習とピンイン表記。		
3. 発音の基礎	発音練習。簡体字の紹介。簡体字・声調・ピンインをセットで覚える習慣を付ける。		
4. 第一課	人称代名詞・「是」の文		
5. "	"		
6. 第二課	指示代名詞・疑問詞疑問文・所有の「的」・副詞「也」		
7. "	"		
8. 第三課	動詞の文・所有の「有」・省略疑問の「口尼」		
9. "	"		
10. 第四課	助数詞・指示代名詞(2)・形容詞・数の尋ね方		
11. "	"		
12. 発音の確認	個別に正しい発音が身に付いているかを確認。		
13. 前期の総復習	前期の学習内容が身に付いているかを確認。		
14. 中国映画鑑賞(前半)	比較的聞き取りやすい中国語の映画を、聞き取れる単語を探しながら鑑賞する。		
15. "(後半)	"		
16. 前期の復習と文化紹介	前期の勘を取り戻すように練習。また、中国の書籍や写真や音楽などを紹介。		
17. 第五課	完了の「了」・存在の「有」「在」		
18. "	"		
19. 第六課	数字・日付と時刻・「いつ？」の尋ね方		
20. "	"		
21. 第七課	介詞(1)・反復疑問文		
22. "	"		
23. 第八課	時間量を表す語・「しなければならない」の「得」・介詞(2)		
24. "	"		
25. 第九課	経験のアスペクト・「是～的」の構文・介詞(3)		
26. "	"		
27. 中国映画鑑賞(前半)	ナチュラルスピードで既習の文章が聞き取れるかどうか力試ししつつ鑑賞する。		
28. "(後半)	"		
29. 後期総復習	後期の学習範囲が身に付いているかを確認する。		
30. 一年間の総まとめ	一年間で中国語の基礎が身についたかを確認。今後の学習についてアドバイス。		